

＜グローバル・ヒストリー、異文化交流史、アメリカ、カナダ、オーストラリア＞

19 世紀・20 世紀初頭のアメリカへの移民の貴重な原資料を網羅

移民の世界史 デジタルコレクション Migration to New Worlds

本データベースは、19 世紀から近現代まで、数百万人もの移住者たちが経験した 200 年にわたる動乱の歴史を描きだすものです。英国やアイルランド、ヨーロッパ大陸、アジアから新世界—アメリカ、カナダ、オーストラリアへ渡った人々の動きをたどる資料を、世界の 26 の文書館、図書館、博物館のコレクションから収録しています。



収録資料は主に、個人の日記や口述録、書簡、旅の日誌、スクラップブック等、移住や入植に関する個人の記録であり、その社会的背景資料として、政府の文書や移住先の社会の反応、地図、船舶の記録、貴重な印刷物や絵画等、を提供しています。

1800 年から 1980 年にかけて、植民地の拡大から、産業の発展、2 つの世界大戦を経て現代にいたるまでの移民のダイナミックな動向を描き出しています。本データベースは、今後の移民研究にとって欠かすことのできないデジタルコレクションとなるでしょう。

以下の 2 つのモジュールからなります。

Module 1: The Century of Immigration 移民の世紀：1800-1924 年
Module 2: The Modern Era 近代：1840 年-戦後

編集委員 EDITORIAL BOARD

Professor John Belchem, Professor of History at the University of Liverpool

Professor David Fitzpatrick, Professor of Modern History, Trinity College Dublin

Dr Anthony James Hammerton, Emeritus Scholar, La Trobe University

Rona Hollingsworth, Curator, Maritime Museum of Tasmania

Roger Kershaw, Head of Military, Maritime, Transport and Family History at the National Archives, UK

Professor Andrew Linn, Professor of the History of Linguistics, University of Sheffield

Dr Moya McFadzean, Senior Curator, Museum Victoria

Paul Milner, Federation of Genealogical Societies

Dr Matteo Pretelli, Postdoctoral Research Fellow in the Department of Italian Studies, University of Warwick

Dr Kevin Sheehan, Collections Manager, Maritime Museum San Diego

Professor Jacob L. Vigdor, Daniel J. Evans Professor of Public Affairs, University of Washington

Professor William Van Vugt, Professor of History at Calvin College



リリース年=Module1 2015 Module2 2017

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店：丸善雄松堂)

《裏面に続きます》

- ◆ 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- ◆ 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- ◆ お見積もりは、別途ご用命ください。

Module 1: The Century of Immigration 移民の世紀：1800-1924年

「移民の世紀」と呼ばれる19世紀を中心に、1800年から1924年までに焦点を当て、アメリカ、カナダ、オーストラリアへ渡った移民の動機や出発から到着し定住するまで、移民のあらゆる側面を網羅します。

手紙や旅の日記、日記や証言録など、移民の経験と苦労を物語る資料とともに、スクラップブックや政府の文書、手書きの地図や水彩画、移民奨励のパンフレット、船舶の記録、貴重な印刷物等を収録。

イングランド、スカンジナビア半島、アイルランド、イタリア、ユダヤ人、ポーランド、スコットランドなどのヨーロッパ系移民、中国人や日本人のアメリカへの移住者、インドや中国からの年季奉公の労働者としての移民、等を中心に、世界各地の15機関から資料を収集しています。

【収録資料一例】

植民地化

- ・英国公文書館所蔵：陸軍省・植民省の移民関連文書（CO 384）
War and Colonial Department and Colonial Office: Emigration Original Correspondence (CO 384)
カナダ、オーストラリアにおける英国の植民地化、大英帝国内での年季奉公労働者に関する重要資料
- ・グレンボウ博物館（カナダ）およびビクトリア博物館（オーストラリア）所蔵の書簡、日記、日記類。
両国への移民の動機などが記されています。

アジア系移民・移民排斥

- ・カリフォルニア歴史協会所蔵の日記およびパンフレット類。19世紀末から20世紀にかけてのアジア系移民増加にともなう、中国・日本からの移民排斥を取り巻く議論や、アジア系労働者の検挙に関する資料です。

日系人強制収容

- ・ペンシルバニア歴史協会所蔵 イワタ文書：第二次世界大戦中に強制収容を経験した日系移民イワタ・シゲゾウが友人とかわした書簡には、収容所内での生活が詳細に記されています。

個人の体験記

- ・カナダ、アメリカへたどり着いた移民たちのオーラルヒストリー（ビデオ、音声）を豊富に収録しています。
（カナダ移民博物館（ピア 21）およびニューヨーク テネメント（移民・貧困者むけ賃貸住宅）博物館所蔵）

港湾

- ・英国移民の主要な出発港のリバプールや、移民の到着港としてカナダ最大のピア 21（ノバスコシア州ハリファックス）の資料。
港周辺の様子を伝える水彩画や写真や、輸送船内の衛生状況を物語る船医の日記、移民たちのオーラル・ヒストリー等を収録しています。

船舶と海運会社

- ・英国やヨーロッパの大洋航路船の写真コレクション（リバプール海事文書・図書館所蔵 Mc Roberts Collection）のほか、主要な海運会社のビジネス文書、写真、出港予定表や旅客情報などを提供。
- ・移民船での生活の様子を伝える航海日誌（サンディエゴ海事博物館所蔵）や、乗客の書簡なども収録。

【原本所蔵機関 SOURCE ARCHIVES】

- ・ American Antiquarian Society アメリカ稀覯書協会
- ・ British Library 大英図書館
- ・ California Historical Society カリフォルニア歴史協会
- ・ Canadian Museum of Immigration at Pier 21 カナダ移民博物館（ピア 21）
- ・ Glenbow Museum グレンボウ博物館（カナダ）
- ・ Historical Society of Pennsylvania ペンシルバニア歴史協会
- ・ Liverpool Record Office リバプール史料館
- ・ National Museums Liverpool: Maritime Archives & Library リバプール 海事文書・図書館
- ・ Maritime Museum of Tasmania タスマニア海事博物館
- ・ Maritime Museum of San Diego サンディエゴ海事博物館
- ・ Museum Victoria ビクトリア博物館（オーストラリア）
- ・ The National Archives, UK 英国公文書館
- ・ Robert Opie Collection ロンドン、ブランド、包装、広告博物館蔵 ロバートオピーコレクション
- ・ Tenement Museum, New York. ニューヨーク テネメント（移民・貧困者むけ賃貸住宅）博物館
- ・ University of Sussex サセックス大学

19世紀の植民地経営会社の成長から、移民たちへの福祉、20世紀の世界的な紛争から逃れるために祖国を逃れた難民や避難民、ディアスポラに焦点をあてています。

このモジュールでは、米国における移住者へのサービスを提供する組織の文書や、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドへの移住を奨励するパンフレット、政府文書とともに、移民たちの口述記録や書簡、スクラップなどを豊富に収録しています。

世界の15機関から集められた移民の物語を再現する一次資料で、英国、アイルランドからニュージーランド、オーストラリアへの移民、東欧（ハンガリー、ポーランド、クロアチア、リトアニア、ウクライナ）やイタリアからアメリカへの移民のコミュニティ等が取り上げられています。

【収録資料一例】

植民地化・植民地経営

- ・英国公文書館所蔵：ニュージーランド会社関連文書（CO 208）：
オーストラリアの植民地化によって、英国内での失業や貧困の緩和と、植民地での農業労働者の需要へ対応することを意図して設立されたニュージーランド会社の内部資料や入植に関する文書を収録。
- ・Emigration Entry Book(CO385)やLand and Emigration Commission (CO 386)を収録。
- ・テキサス州 ブリスコ・アメリカ史センター所蔵の、ドイツ人のテキサスへの入植に関する議論を含むStephen F. Austinの個人及び公的文書
- ・ニュー・サウス・ウェールズ州への囚人移送の記録や、青少年のニュージーランドへの移民に関与したトーマス・セジウィックのスクラップブックを収録。

航路

- ・ヨーロッパから米国への移民輸送に多大な貢献をしたアントワープの海運会社Red Star Lineの記録。

世界紛争

- ・両大戦中に迫害から逃れヨーロッパから米国へ渡った人々の保護と援助を支援した全米移民難民支援機構（Immigration and Refugee Services of America: IRSA）や、ポーランド避難民支援組織の文書

移民への福祉サービスと組織

- ・セツルメント・ハウス「シカゴ・コモンズ」を設立したグラハム・テイラーの文書。
- ・全米移民支援機構(IRSA)の各国語に訳されたプレスリリースや、シカゴのイリノイ大学所蔵 移民保護連盟(Immigrants' Protective League)の文書など、20世紀アメリカで移民を支援した組織の文書

口述録

- ・ミネソタ大学移民史研究所より、移民の口述記録の動画、音声を収録。

【原本所蔵機関 SOURCE ARCHIVES】

- ・Briscoe Center for American History, The University of Texas at Austin
テキサス大学オースティン校ブリスコ・アメリカ史センター
- ・British Library 大英図書館
- ・Cambridge University Library ケンブリッジ大学図書館
- ・Canadian Museum of Immigration at Pier 21 カナダピア21
- ・Immigration History Research Center Archives, University of Minnesota ミネソタ大学移民史研究所
- ・Libraries and Archives Canada カナダ国立図書館・文書館
- ・National Archives of Australia オーストラリア国立公文書館
- ・National Library of Ireland アイルランド国立図書館
- ・National Museums Liverpool: Maritime Archives & Library リバプール海事図書館
- ・Red Star Line Museum, Antwerp レッドスターライン博物館(アントワープ)
- ・Senate House Library, University of London ロンドン大学図書館
- ・Special Collections & University Archives, University of Illinois at Chicago
イリノイ大学シカゴ校 特別コレクション
- ・The National Archives, UK 英国公文書館
- ・The Newberry Library ニューベリー図書館
- ・University of Melbourne Archives メルボルン大学文書館

Migration to New Worlds

◎ 世界各地から集成された数千点にのぼる資料は、テーマによってわかりやすく分類されています。
 <テーマ一例>

- ・ Arrivals: Ports and Early Experiences (到着地)
- ・ Departures: Port Conditions and Organisation (出発地)
- ・ Journey Conditions (旅程の状況)
- ・ Motives for Emigration (移民の動機)
- ・ Permanent Settlement and Successive Generations (定住と次世代)
- ・ Politics, Legislation and Governance (政治・法制・統治)
- ・ Religion, Ethnic Identity and Community Relations (宗教、民族のアイデンティティ、コミュニティ)
- ・ Remigration (移住)
- ・ Responses to Immigration (移民への反応)
- ・ Ships and Shipping Lines (船舶および航路)



各テーマをクリックすると該当資料が抽出されます。

◎ インタラクティブマップやビジュアル資料、音声やビデオも豊富で、授業でも活用いただけます。



国や地域の移民数の変化を時系列のグラフと地図で表示できます。



画像資料は一覧表示できます。

Title	Date	Themes	Media
Interview with Seena Patel (Part 1)	n.d.	Motives for Emigration, Arrivals, Ports and Early Experiences, Permanent Settlement and Successive Generations, Religion, Ethnic Identity and Community Relations	The Century of Immigration
Interview with Irit Hershkov (Part 1)	4 Feb 1988	Permanent Settlement and Successive Generations, Religion, Ethnic Identity and Community Relations	The Century of Immigration
Interview with Irit Hershkov (Part 2)	9 Feb 1988	Permanent Settlement and Successive Generations, Religion, Ethnic Identity and Community Relations	The Century of Immigration



移民の音声や動画も収録。音声は文字おこしされており、テキスト検索可能。

【価格体系】

FTE により価格が異なります。

FTE は人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

価格は概算参考価格(税抜)です。

	FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-10,000 (Band 1)	FTE 10,001-15,000 (Band 2)	FTE 15,000< (Band 3)
Module 1	価格はお問い合わせください			
Module 2	価格はお問い合わせください			

- ◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇バックアップHDD提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限
- ◇ 無料トライアル 受付中！(機関・個人ともに1か月間)